

日本共産党区議会議員

Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告

ニュース

第144号



実家の仙台が被災。幸いに家族は無事でしたが、震災翌日から取り組んできた救援募金では、たくさんの善意の気持ちに触れ、胸が熱くなりました。力あわせこの災害を乗り越えられる希望と展望がここに確かにあります。

2011年4月10日 安藤たい作事務所：品川区西品川3-16-3 TEL3491-3230

バックナンバー 共産党 品川 検索

区長に被災者救済と区民生活維持に関して緊急申し入れ

区の被災者向けの区民住宅に8倍の応募



3月25日に区議団と党地区委員会で行った緊急申し入れ。受け取った副区長は「走りながら考え、考えながら走っている状態です。要望は区長に伝えます」と対応しました。

【要請項目】

- ①被災者の生活など相談と申請がワンストップでできる総合相談窓口の設置
- ②被災者への住宅支援と、就学や保育園、介護サービスなど受け入れ体制の整備
- ③区内の地震被害を調査、把握し必要な措置を講じる
- ④水道水から検出された基準値以上の放射性ヨウ素の対策強化、など7項目。

共産党区議団と品川地区区民生活維持に緊急に申し入れました。区による被災者救済と区民生活維持に緊急に申し入れられました。区の被災者向け区民住宅には募集戸数の8倍の応募が。被災者救済を強化するとともに、災害から区民の命を守る福祉・くらしを真ん中に置いた区政への転換が求められています。

7項目の「緊急申し入れ」では、区内の公務員宿舎、都営住宅、UR住宅などの活用、社員住宅を持つ区内企業に対して空き住宅の提供の申し入れなど、被災者への住宅支援の強化も強調しました。

18戸の被災者向け住宅に147件、8倍の応募

その後、区は3月30日から4月1日まで区内に避難されてきた被災者向けに空き家の区民住宅の公募を実施（18戸、入居4月から6ヶ月間、家賃等免除）。これには、応募戸数をはるかに上回る147件の申し込みがありました。倍率は8.1倍。公募自体を知らず応募でき

安藤たい作プロフィール

’74年仙台市生まれ。宮城教育大卒。在学時に日本共産党に入党。’98年漫画家を志し上京、’02年青年誌奨励賞受賞。’06年の区議補選で初当選。現在、二期目。

なかった方を含めると更に多くの方がいると想像されます。

追加の被災者向け住宅確保を早急に

区は、公募に外れた方には当面、都が提供し4月中に入居開始予定のグランドプリンスホテル赤坂（入居6月末まで）を案内する、

都からは被災者向け都営住宅の2次募集の計画が入っているので今後の動きを見ていきたい、と説明。しかし、

応募の実態を踏まえれば東京都待ちでなく、追加の住宅を早急に確保すべきです。区が購入を決めたばかりの北品川3丁目の土地には

民間会社の社宅もそのまま残っており、その気になればすぐに活用

できるはず。福島原発事故が大

変深刻ですが、これまで東京・品川の電力も野菜や鮮魚など、食も、

東北がずっと支えてきました。今こそ恩返しすべき。引き続き、区

に出来る限りの支援を要請していきます。

突然「自宅待機」となり、収入がストップ。派遣労働者の方には、事実上の雇い止めも。水道水の放射性ヨウ素の問題では、最も影響が受けるのは弱い乳幼児です。

区長と自・公・民の与党で決めた国保料の値上げが追い討ち

品川でも、自粛や停電などの影響で、ただでさえ不況で追い込まれていた町場の商店や

飲食店、中小企業の売り上げが激減しています。年明けからお客が

戻り始めていた、というある中華料理店では、

震災で再び客足が激減。「消費税を払える見通しがこれでだめになった」と肩をおとします。

少ない年金では暮らしていけないと働いて

いた高齢者の方の仕事が

東日本大震災救援金募金へのご協力ありがとうございます ¥259,031

安藤たい作事務所で行われた街頭募金に4月4日までに寄せられた募金の金額です。あたたかいご支援に心から感謝いたします。募金は共産党本部を通じ、連日被災自治体に届けられています。



*党品川地区委員会では
200万円、全国では
3億円を超える救援金が寄せられています。

小銭がたくさん詰まった貯金箱を寄せて頂いた方も。「何か力になりたい」との気持ちが被災者を励ましています

もあろうに品川区は6月から国保料を値上げします。高齢者夫婦や障害者、所得の少な

など、社会的に弱い立場にある方々を狙い打ちにした値上げには、自・公・民が賛成しました。



震災でまっさきに被害を受け、苦しむのは、

これまでの政治の貧困

によってもともと弱い

立場においてやられてき

た方たち。福祉・くらしを真ん中にすえた政

治でこそ、災害から区

民の命も守れます。

被災されたみなさまへ

初めての地で多くの苦労を、また不安を抱えていることと思います。被災者の皆様を対象にとりくまれている取組みです。

- * 交流・おしゃべり
- * 情報交換
- * 絵手紙・書道で気分転換

毎週金曜10~16時(屋食持参)

会場：ゆたかの家(ゆたか診療所2階)

品川区豊町4-3-20 TEL5751-0946

主催：城南保健生協ゆたかの家
(共催：新婦人品川支部)

